

## 東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
歴史・文化の発掘・発信 郷土愛醸成事業		東区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	R3	R4	R5
市民・団体等と行政の協働のもと、次世代を担う子どもを主な対象として、文化・歴史に触れられる各種事業を実施することで、地域固有の歴史の発掘・発信、継承、及び区民の文化意識の向上、文化活動の促進を図る。	区域の歴史・文化の保全や区民の区域に対する関心向上により、郷土愛の醸成が図られる。	子ども絵画展示展示点数	—	167	197
		東区かるた小学校配付数	—	—	391
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 地域固有の歴史の発掘・発信、継承、及び区民の文化意識の向上、文化活動の促進には公益性があり、区が実施主体となる必要性があるため、区での実施が妥当である。	○ 東区政策会議からの提案・企画を受け事業を実施している。実施の過程においても、区政策会議構成員はじめ市民・団体等との協働により事業を実施している。	○ 子ども絵画展示事業については、ひがしふれあい文化祭で展示した小学生絵画197点を南海電鉄の協力のもと鉄道4駅に展示した。東区かるた製作事業については、ひがしふれあい文化祭やロビーでの予告展示も行い区民への周知を行った。いずれも区域の特色を活かした事業である。	○	子ども絵画展示については、ひがしふれあい文化祭の展示作品を引き続き展示することで効率的に事業を実施した。東区かるた製作事業については、絵札について写真をソフトウェアで水彩画風に加工することで製作費の大幅な節減を図った。	
⑤自立発展性	総合評価				
△ 当事業は東区政策会議からの提案・企画に基づいた事業であり、地域全体で区域の歴史・文化の保全や区民の区域に対する関心向上が図られる機運が醸成されるまでの間、行政が実施すべき事業である。	○ 駅という地域で多くの方が利用する空間に子どもたちの絵画作品が展示されたこと、子どもたちが地域の方々から歴史を学ぶ素地となるかるたを作成したことは事業の成果であり、子どもたちを軸として文化の裾野が広がり、また歴史を発掘・継承する一歩を踏み出したことは意義あることである。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
継続	文化事業についてはこれまで実施してきた絵画展示を発展させ、地域のこどもたちの創作物(絵画等)を地域全体で展示するためにスペースを貸与いただける施設(公共施設・店舗・集会施設など)を開拓する方向性で進める。その他、メンバーからの提案も含め引き続き「ひがし文活」において議論する。 東区かるたの活用として、東区民まつりでのかるた体験会、かるたマップの作成、スマホアプリを活用したスタンプラリーの整備及びイベントの実施を進める。				